

## 高度ソフトウェア技術者養成プログラム「IT SPIRAL」

### 2007年度要項(理工学研究科情報理工学専攻)

#### 1. 趣旨・目的

ソフトウェア技術は、家電製品から航空管制システム、金融管理システムなどの社会・産業の基幹システムまで広く用いられており、国民生活を支える社会インフラの基盤となっています。しかし、わたしたちの国ではソフトウェア分野における人材が質・量ともに不足しているとの指摘がなされています。このような社会動向を受けて、立命館大学では、先導的 IT スペシャリストを育成すべく、関西圏の情報系 9 大学院の教員や企業の技術者の力を結集して、高度で実践的なソフトウェア工学教育プログラム「IT SPIRAL」を実施します。それぞれの大学院から選抜された修士課程 1 回生約 35 名について直接的に教育を行う融合連携型専攻を構築するものです。具体的には、基礎ソフトウェア工学科目群 先端ソフトウェア工学科目群 実践ソフトウェア工学科目群からなる教育プログラムとなっています。

#### 2. 「IT SPIRAL」プログラム概要

##### 1) 基本ソフトウェア工学科目群

ソフトウェア開発のために必要となる知識を習得する科目群です。理工学研究科で開講されている以下科目が対象となります。授業内容については、オンラインシラバスを参照してください。

科目名	担当者
分散システム特論(奇数年開講)	丸山 勝久 / 西尾 信彦
システムプログラム特論(奇数年開講)	島川 博光 / 高田 秀志
ソフトウェア工学特論(偶数年開講)	大西 淳 / 糸賀 裕弥
システムプログラム特論(偶数年開講)	毛利 公一 / 横田 裕介

##### 2) 先端ソフトウェア工学科目群

最先端のソフトウェア工学の関連知識を教授するとともに、その背景となっている理論や理念を教授し、現在のソフトウェア開発環境が変化しても、新たな技術を自ら生み出すことが可能な潜在的に優れた適応力を身に付けさせる科目です。

ソフトウェア工学の最先端技術に詳しい研究者・教育者が所属する各大学院において、各教員の専門分野を中心として開発技術、プロセス管理、組込みシステム、要求分析、ウェブシステム等、SWEBOK の各知識領域をカバーしたテーマに関して、授業を記録した教材コンテンツ(1種類につき5回分の講義)を作成します。これらの中から、プログラムコーディネーターが定める履修モデルに基づいて、15回分の講義(3種類)を一つの先端ソフトウェア工学科目として構成します。

##### 3) 実践ソフトウェア開発科目群

ソフトウェア開発の高い技術力を有し、多くの開発プロジェクトに関する知見を蓄

積している(株)日立製作所、(株)日立システムアンドサービス、(株)オービス総研、(株)NTTデータの4社により、実践的なソフトウェア開発の講義・演習を行います。これらの講義・演習では、SWEBOKの全知識領域について、実プロジェクト教材を用います。

講義および演習は、大阪大学中ノ島センターに2週間に一度、受講学生全員を集めて行われます。特に演習では、受講生を小規模グループに分け、複数人で協力してプロジェクトを仕上げます。その際、複数大学院の学生を一つのグループとして、異なる大学院間の交流とプロジェクト推進に必須であるコミュニケーション能力の向上を図ることを目的としています。

なお、実際に開講される科目は以下の通りです。

種別	科目名
講義	実践プロジェクト管理 実践ソフトウェア開発論
演習	実践ソフトウェア開発演習

### 3. プログラム修了要件

「IT SPIRAL」は以下3種類の科目群から構成されています。以下の必要単位を満たせばプログラム修了となり、「修了認定証」が発行されます。

科目群	必要単位
基礎ソフトウェア工学科目群	2科目 4単位
先端ソフトウェア工学科目群	2科目 4単位
実践ソフトウェア開発科目群	3科目 6単位
合計	7科目 14単位

### 4. 単位認定について

本プログラムで取得した単位は、理工学研究科の修了要件単位として以下のとおり認定されます。

	基礎ソフトウェア工学科目群		先端ソフトウェア工学科目群	実践ソフトウェア工学科目群
科目名	システムプログラム特論	分散システム特論	特殊講義(固有専門科目)	単位互換科目
(授業CD)	70131	70135	-	-
(クラス名)	-	-	S	J
実施期間	前期・調整中	後期・木1・2時	期間なし(不定期)	大阪大学での実施期間に準ずる
実施場所	立命館大学(フォレストF112)	立命館大学(フォレストF111)	オンデマンド	大阪大学(中ノ島センター)
担当者	島川博光教授・高田秀志教授	丸山勝久教授	大西淳教授・丸山勝久教授	大阪大学教授
単位数	2	2	2	2
認定期間	前期	後期	後期	後期
評価	5段階評価(A+~F)	5段階評価(A+~F)	5段階評価(A+~F)	PまたはF
受講登録	必要	必要	不要	不要

以上